



僕らが築く 安心ネットルール

～日新サミット2年間の軌跡～


参加者の声



渡辺宏祐さん (日新中3年)
以前はSNSの問題はよくわからなかったけど、活動を通じ、自分たちが変わっていくという考えを全員で持てたと感じています。今まで自分たちができることをやってきたので、後輩たちに意思をつないでいきたいです。



大隅陽太さん (豊浦小6年)
以前よりもSNSを使うことに気を付けるようになりました。サミットでは先輩と意見を交換したりして、とても勉強になりました。



金子樹さん (鍋掛小6年)
今までは夜の9時を過ぎてもゲーム機を使っていました。でも、これからは先輩たちと作ったこのルールを守っていきたい。参加してよかったです。

幸田 順さん (鍋掛小 PTA)
子どもたちが使う機器では、フィルタリングの確認を行っています。今回のように自分たちで意識してやっていることが、子どもたちにとって良い経験になっていると思いますね。

近年

年、社会的な問題となっている小・中学生のSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用。インターネットの普及により、さまざまな情報を入手したり、多くの人とコミュニケーションをとったりすることが容易になってきている反面、ネット上での悪口や課金サイトへの誘導など、子どもたちがインターネットトラブルに巻き込まれることも増えてきている。

子どもたちを守るにはどうすればよいか。市内でも、この問題について率先して取り組んでいる学校がある。

日新中学校では、児童生徒と地域の大人たちが一緒になって「日新サミット」を開催し、子どもた



毎回熱い議論が繰り広げられた日新サミット

ちがSNS利用する際の問題について話し合ってきた。

平成27年度から28年度にかけて4回開催された日新サミット。日新中学校・鍋掛小学校・豊浦小学校の児童生徒に加えて、保護者や教師がそれぞれの立場という垣根を超えて議論を重ねた。そして、出し合った意見を基にSNSを使用する際のルールを作成した。

しかし日新サミットは、単にルールを作ったという訳ではない。作ったルールについて、子どもたちが自らアンケート調査を行い、ルールの効果を検証している。そして新たに浮き出た問題についてクラスで意見をまとめ、次回のサミットで更なる議論を重ねている。

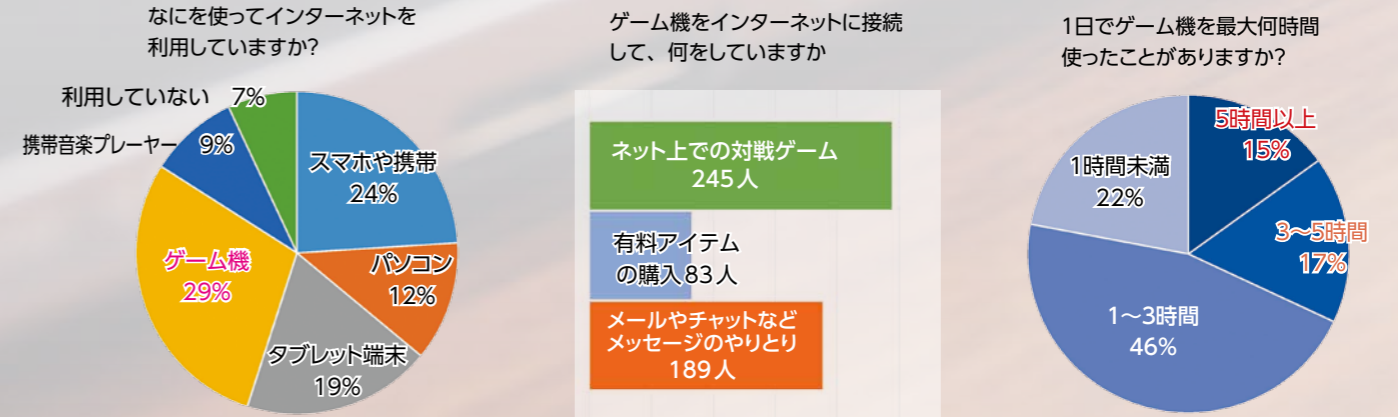
自分たちで作ったルールの価値

SNS利用のルールを作ったことで、「ネット上での悪口のトラブルがほとんど見られなくなった」と答えた生徒が95%に達したほか、利用時間を守る子どもも増加した。「誰かに言われたから」ではなく、「自分たちで決めた事だから」と、子どもたちが自分事として問題を認識するようになった。サミットを通じ、子どもたちは、他人の多くの意見を聞き、その内容をまとめ、自分の意見として発表する力を身に付けた。

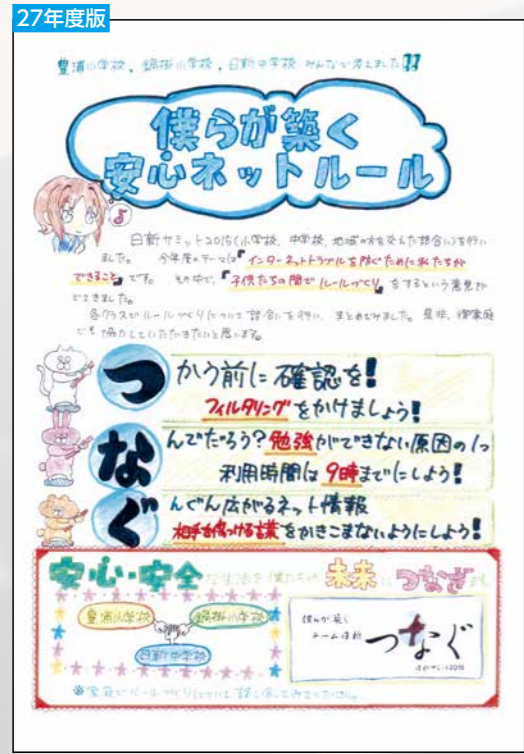
なく、「自分たちで決めた事だから」と、子どもたちが自分事として問題を認識するようになった。サミットを通じ、子どもたちは、他人の多くの意見を聞き、その内容をまとめ、自分の意見として発表する力を身に付けた。

子どもたちの実態はどうなのか…。 日新中生徒会がアンケート調査を実施

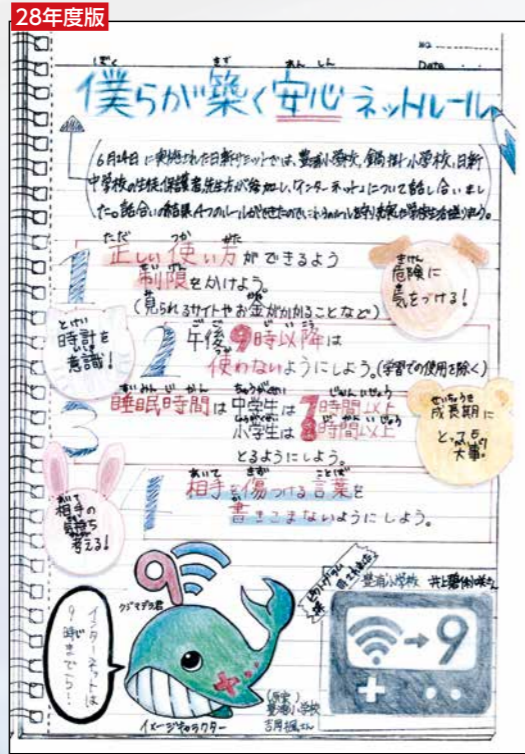
日新中の全生徒および、鍋掛小と豊浦小の5・6年児童を対象にアンケートを実施した結果、インターネットを利用するためにゲーム機を使用する子どもが全体の3割近くおり、ゲーム以外にメールなどを使用しメッセージのやりとりを行っていることが判明した。また、長時間(1日で最大3時間以上)使用したことがある児童生徒も3割以上いること、夜の9時過ぎまでインターネットを使用しメールのやりとりをしている状況などが分かった。



◆小・中あわせた日新中学校区全ての統計 (H28.6.24開催の日新サミット資料より一部抜粋)



サミットで議論されて作られたルールは、手作りパンフレットにして全児童生徒に配られた。



日新サミットが教えてくれたもの

平成29年2月10日開催の会議では、今までの経過などが発表されたほか、今まで練り上げてきたルールをさらに良いものとするため、活発な意見交換が行われた。日新サミットがSNSをテーマとするのは今回が最後。しかし、子どもたちは引き続きSNS利用について研究を続けていくという。「自分たちの問題だから、自分たちでできることはなにか…」。

日新サミットに参加した人たちが示してくれた、自主的な考えによる問題解決。日新中学校区だけでなく、全ての地域で、そしてこの社会を生きる私たち全てが、今を生きていくために持つべき意識ではないだろうか。



子どもたちが考案したピクトグラムとイメージキャラクター ※ステッカーにして子どもたちに配布された。